

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	事業地住民の生活向上 事業地のインフラが整備され、地域住民の生活環境や経済状況が改善される。
(2) 事業内容	道路建設 3. 4 kmの道路建設全区間において路盤工事、パイプカルバート5基とボックスカルバート1基の建設工事、側溝掘削工事が終了し、ラテライト舗装は最後の締め固めの段階にある。 付帯工事として浸食防止芝貼り・植栽工事が進行中であり、残るのは重量車両進入防止ゲートの設置と銘板の設置である。 道路維持管理 住民により構成されている道路維持管理組合に供与する維持管理用品の調達を進めている。 当初 NGO 連携無償資金協力贈与契約が発効してから3週間後の建設工事着工を予定していたが1週間後に着工できたこと、工事も順調に進んだことにより4月中に工事が終わる見込みである。4月、5月は連休が多く、工事の進捗が遅くなる時期であるが、既に主要な工事の大部分が終わっているため全体として計画より早く進捗している。
(3) 達成された効果	道路建設が未完了で住民に引き渡されていないため効果が発現していない。
(4) 今後の見通し	道路建設の残工事（ラテライト舗装の仕上げ、浸食防止芝貼り・植栽工事、重量車両進入防止ゲートの設置）を4月中に終え、平行して住民向け道路維持管理セミナーを4月下旬に行う。 建設工事の完了、住民への道路維持管理技術移転を確認後5月下旬に完成式典を行う予定である。